

議会報告会での報告に対する質問・意見及び要望

(総務文教委員会所管)

	意見・質問	会場での回答（及び検討結果）
1	竹田池の決壊の際の住民への周知方法や被害状況の把握方法など、災害対策本部としてどの程度徹底されているのか。（生涯学習センター）	地域防災計画に基づいて対応していると思われるが、今回の災害の規模は初めてであったことから、計画と実情があわない部分がありました。
2	大門池が崩落し通行止めになった関係で、工事は今年度中に発注予定と議員に聞いているが、工事に入ると9～12ヶ月児童が通学路を通れなくなる。その間バスやタクシーで児童の送迎はできないか。（クルトピア栗生）	今年度中の発注予定、工事期間は9ヶ月程度になるのではないかと聞いています。通学路の件は心配しているところです。要望を持ち帰り協議して、提言を出せるようにしたいと考えます。
3	以前、避難計画の見直しを行うと新聞では報道されたが、その後の進捗状況は。（生涯学習センター）	今後、執行部も地域防災計画の見直しを検討していることから、議会として今回の提言内容を反映するよう働きかける。
4	避難所について、体育館と公民館では環境が違い過ぎるため、避難所設置基準を策定できないか。（生涯学習センター）	避難所内の施設設備について定めた設置基準は現在設けていません。避難所については、体育館等で不自由されたという意見も聞いています。暑さ寒さ対策も含め、意見の多かったトイレ対策等の要望をしていきます。
5	避難所の環境や物資の状況も分からず、どこに避難すればいいのか判断に迷う。また、避難所の環境や物資に差がある。（生涯学習センター）	事前に詳細な情報提供がスムーズにできるよう議会として強く要望していきます。
6	自主避難所の設置基準は。（生涯学習センター）	市が開設する避難所以外の場所で、地域等が必要に応じて開設されます。
7	協和公民館は、避難所になっているが設備の老朽化もあり水道が断水した。現在復旧はしているが、避難所となる施設なので整備をお願いしたい。（協和公民館）	12月定例会において補正予算で対応をしました。
8	阿字町から協和公民館に行くのは危険なこともあり、阿字体育館も避難所を開設してほしい。（協和公民館）	市に伝えます。避難するときに死亡したりケガをするケースもあります。身を守るために事前の避難所の確認と行動を家族や地域、自主防災組織で確認することも大事です。

9	避難所には食料などの物資があると思っている人がいるが、自分の食料は自分で持っていくのが大原則である。現実には物資が届かない避難所もあったはずである。 (協和公民館)	物資がある場合や不足する場合があります。今回は現実には食料がないところがありました。自分の身は自分で守ることが原則を周知することも必要です。
10	Kultピア栗生も避難所になっていたが、エアコンは夜になったら自動的に切れるようになっていた。改良、取替えをお願いしたい。 (Kultピア栗生)	省エネ対応で多目的ホールはエアコンが切れるようになっていますが、2階の和室や1階の調理室は24時間使えるようになっています。避難所になっていた際は、避難者には2階に上がってもらったり、扇風機で調理室の冷風を回したりして対応しました。 実情を執行部に伝え、改善するよう要望しました。
11	避難場所の見直しは、どのように行うのか。 (上下町民会館)	市が指定する避難所は市が検討しますが、自主避難場所は最終的には、地域の方で決めていただくことになります。
12	避難指示が出た際の避難対象者が全員避難した場合、指定避難場所でも収容できないのではないのか。(上下町民会館)	御指摘の内容も含め、避難場所のあり方について検討されています。
13	出口公民館は当初避難場所ではなく、豪雨の際は市に物資等その都度対処していただいた。耐震工事をする予定になっているが、工事をしても指定の避難場所とするのは難しいのか。 (出口公民館)	この地区はTAMや Kultピア岩谷に避難することになっていますが、TAMに行くには川を渡らなければならず、災害によっては危険を伴う場合もあると認識しています。そういうことを踏まえると、出口公民館も避難所として使っただけだと思います。市のほうも、今回の災害を教訓におそらくそういうことも考えていると思います。避難所についてはいろんな御意見が出ており、市も集約をしています。御意向に沿うように議会としても働きかけていきます。
14	出口公民館だから避難ができた。TAMや Kultピア岩谷だと高齢者は避難ができない。 (出口公民館)	避難所については、地区で話し合っって一番安全な場所を決めて、それを市にお願いする形が良い。 一時的に避難するところとして避難場所があって、避難が長期にわたる場合には安全な避難所に移るという形になっていると思います。
15	市営住宅の空き地になっている部分にプレハブでも建ててもらって避難場所にしてはどうか。検討してほしい。 (出口公民館)	要望として伝えます。
16	Kultピア明郷は、浸水することで避難所として使えなくなったため、避難所の改善を求めている。府中明郷学園は避難所として使えないのか。(Kultピア明郷)	Kultピア明郷は、浸水の影響でトイレが使えませんでした。府中明郷学園は水道が使えなくなりトイレも使えない状況になりました。今後は洪水に関する避難は下川辺保育所2階。土砂災害に関する避難は Kultピア明郷を基本に検討されています。

17	防災無線について、自分の家では何を言っているかさっぱり分からない。戸別端末機の検討という報告もあったが、相当の金額がかかると思う。増設することとも聞いているが、本当に役に立つように設置してほしい。 (クルトピア栗生)	栗生地区には2基増設することになっています。角度も考えられて設置場所が決まっていますが、雨の日に窓を閉めていればおそらく聞こえないのではないかと思います。 防災無線ありきではなく、いろいろな方法を考えているところです。 栗生地区においては町内会・自主防災組織の協力のもと、大門池決壊の危険があった際には10分おきに防災無線のマイク設備で呼びかけも行いました。しかし、届かないところには届かないということは認識しています。
18	緊急の場合、防災無線を利用できると聞いていたが、防災無線自体が浸水して近づけなかった。 地元住民の意見を聞いて設置すべきでは。 (上下町民会館)	今年度、旧府中市内では防災無線の増設を行っていますが、その際は地域の方と協議して適切な場所を決定しています。 浸水して使用できなかった防災無線については、状況を説明し移設も含めて要望していきます。
19	集中豪雨が起った時にハザードマップが、住民に対してどのように生かされているのか。 (生涯学習センター)	ハザードマップにより避難所の場所が把握できるものの、浸水時の避難所か土砂災害時の避難所か分かりにくいとの意見は把握しています。 分かりやすく、見易いマップの作成を要望していきます。
20	災害時のメール配信内容が抽象的で分かりにくい。避難行動に繋がりにくい。 もう少し具体的な内容にできないか。 (生涯学習センター)	池の名前や道路の名前を通知しても具体的に分からないという意見を聞いています。 情報の出し方も含めて工夫するよう要望していきます。
21	7/8の避難勧告は避難準備が出ていない段階で発令されている。発令方法に問題はないか。 また、市からの情報について、防災無線は全く聞こえない。 メールでの通知は受け取れるが、有料メールで発信されている。無料のエリアメールでなぜ発信されないのか。(旭公民館)	防災無線は聞こえないところが大半です。今年度から順次増設すると聞いています。情報伝達については、現在、検討しているところです。避難勧告は急なことが起きている場合が多いので、早めに準備して避難してください。
22	豪雨で被災した地区はたくさんあるが、いつ頃どうなるかという市からの情報提供が不足しているのではないか。 特定の地域には特定の地域専用の回覧を回すなり、広報活動を積極的にするように市へ注文していただきたい。 (クルトピア栗生)	復旧作業についての進捗状況について、現在査定の段階で、コンサルタントや業者が不足している状況があります。大まかに言うと3年をめどに復旧していくということを聞いています。 広報については市へ要望していきます。
23	議会として執行部に提言を出されているが、回答はいつ頃にもらうのか。 (上下町民会館)	提言について、今後3年間でを行うと回答を受けており、その行程も聞いています。
24	この提言は3年かけて実行するということか。 (クルトピア明郷)	復旧工事は、3年をめどにしていますが、その他の提言については、できるもの、できないものがあると考えています。

25	通行止めが多く発生したが、がけ崩れや浸水の場所が分からない。 市民も状況が分かれば対応しやすいので、詳細な情報提供ができないか。 （上下町民会館）	情報については、詳細な情報を早め早めに、メール等により周知するよう要望していきます。
26	災害時の状況を把握するため、地元の土建業者と連携するべき。 （上下町民会館）	各議員も各地を回って災害状況を把握し、今回の提言を行っています。 また、地元の業者の力は大きいと感じているので、連携については要望していきます。
28	国・県・町内会に対する提言内容になっているが、提言は誰に行ったのか。また、提言内容によっては地域に対するものも多々ある。それに対する予算措置はあるのか。 （クルトピア明郷）	この提言は、地域や避難者からの声を吸い上げ、国・県・市・地域が行うことをすべて市長に対して提言したもので、市がすべて行うものではありません。また、予算については、すべて措置するということは難しいと考えていますが、早期の解決を要望するものです。
29	提言内容のうち、地域で行うものは、市の総務課と予算も含めて協議できるのか。 （クルトピア明郷）	町内会としての要望等も入っているので、予算については不要なものもありますが、総務課や担当課で対応することになります。
30	この提言が絵に書いた餅にならないよう進めていくための体制づくりを議員に率先して行ってもらいたい。また、地域にも提言するなど、議員には提言を進めるためリーダーシップを求める。 （クルトピア明郷）	提言内容については、市議会の担当委員会でチェックしながら進めます。地域の皆様と一緒にやっていかないといけないものも多い。また、新たな課題も出ると思いますが、皆様から意見をいただきながら進めていきたいと考えます。復旧工事については、国・県の補助と市の独自制度を活用し、3年をかけてもとの生活になるよう行政に訴えていきます。
31	学校の跡地利用について、駐車場等に利用されているのは知っているが、売却して市の負債を減らすということは考えていないか。 府中学園ができる時に、統合される学校が空くことはわかっていたのに、なぜ計画的にできなかったのか。 （クルトピア栗生）	府中市の公共施設について、用途等全てをチェック・リストアップして、計画をやっと作ったところです。東小学校についてはこれから解体され、グラウンドは災害の時の避難場所ということになっています。現在、学校施設で空いているところはありません。 人口減の中、施設の集約の必要性も出てきており、議会としても公共施設の整備や管理の計画については早い段階で立ててもらうように申し入れをしています。今後進捗状況もしっかり確認していきます。 後半の御意見については、今後の計画に生かしていきます。
32	国府小学校の正門前の道路について、信号も歩道橋もなく危険だと感じている。 今度、道が広がるが、信号や歩道橋はできるのか。 （クルトピア栗生）	今の段階では信号がつくと聞いています。歩道橋はどうかという話もしたが、高齢者が歩道橋を上がったたり下りたりするのが難しいのではないかとということで、信号付き横断歩道が予定されていると聞いています。
33	合併の検証がされていない。 合併して一つの市になったにもかかわらず、サービスに格差がある。 例えば、光回線、ケーブルテレビ、医療など。 （上下町民会館）	合併の検証は行っていないし、難しいと思われます。 もし検証された場合には報告します。 光回線について、執行部も前向きに考えているため、議会として後押ししていきます。

(厚生委員会所管)

	意見・質問	会場での回答（及び検討結果）
1	ハザードマップでは、府中市の半分以上が浸水するような状況で、要援護者の避難をどのように考えているのか。（生涯学習センター）	要援護者の避難は、町内会役員、民生委員、消防団に加え、地域の方で声を掛け合いながら、早め早めの避難が必要です。そのためには、要援護者の把握等の対策を求めています。
2	災害時の救急医療についての対応はどうか。（上下町民会館）	災害時の救急医療について検討し、要望していきます。
3	要援護者の避難について町内会の負担が増えている。市が率先して取り込むべきではないか。（上下町民会館）	要援護者の対応については、地域によっては地元の福祉施設で対応してもらったケースもあり、そういった施設との連携も一つの選択肢として提言としてあげています。自助・共助の理念の理解をお願いします。

(建設委員会所管)

	意見・質問	会場での回答（及び検討結果）
1	ため池の決壊が問題となっているが、七つ池は大丈夫か。また、現在の状況は。（生涯学習センター）	ため池については、農林水産省及び県、市において府中市内の住家などに被害を与える恐れのある箇所について点検され、七つ池も点検済みであり、応急対策が必要な箇所としての報告は受けていません。七つ池は、重要ため池として今回の災害とは別に耐震・豪雨診断（ボーリング）をしています。
2	ため池の検査とは、どういうことをするのか。（出口公民館）	今回は土手にヒビが入っていないか等の目視検査をしています。重要ため池については、耐震などの検査を数年前から順番で県が進めてきています。ボーリング検査を行い、地質も調べます。
3	ため池について、点検済みと未点検があったが、未点検力所はどうか。（上下町民会館）	ため池は、市内で320カ所中、点検対象となった下流の民家や公共施設等に被害を与える可能性のある246カ所の内、228箇所は点検済みで、残り18カ所についても引き続き点検を行うと聞いています。
4	ため池を廃止したいという申し出は出てきているのか。（出口公民館）	要望があったところは聞いていますが、実際に堤防を崩すという話はまだ聞いていません。広谷町で、農業利用もなく、水利権者もよくわからない池があり、これをつぶすとなると砂防の問題や、砂防用の調整池という考え方も出てくるので、すぐに埋めたり堤防を崩したりというのも難しい。市や県が調査している段階です。

5	川底に堆積している土砂の対応をどうするのか。 (協和公民館)	災害時に被害が拡大するおそれがあるので、日ごろの維持管理が重要であることがはっきりしました。県も土砂の撤去を行う予定であり、市にも計画的に撤去するよう強く働きかけていきます。また、河川の越水地域には堤防改修も要望していきます。
6	上下川は川幅が狭いため、川底の土砂撤去をしなければかなり危険である。いつ頃に着手するのか。 (上下町民会館)	一部の一級河川では土砂撤去に着手していますが、具体的な場所の着手時期については把握していません。議会としては、上下川について危険度が高いと判断し要望をしています。
7	今、出口川のしゅんせつ工事を行っているが今回の豪雨で溜まったものではなく長年堆積したものだと思う。出口川は県の管理ではあるが、市からも定期的にしゅんせつ工事をするように言ってほしい。(出口公民館)	市も重々認識をしていると思います。浸水したところもあり、定期的にやってくればそういうことはなかったのという声も聞かれています。日頃からのメンテナンスによって災害を最小限に防ぐことができるということで、議会としても今回の災害を教訓に、強く働きかけていきます。
8	四日市川の川底のしゅんせつについて、ここ20年位何もされていない。(市役所)	中小河川のしゅんせつについて、県及び市へ計画的に行うよう、要望する予定です。
9	河川について、単独の自治体を持っているものではないので、予算措置は難しいとは思いますが、なぜ議会としていまままで放っておいたのか。もっと目を行き届かせていただきたい。(市役所)	以前から、各河川の浚渫については、各議員等から要望は出していたが、災害が起きて被害が出てから物事が動くようにしかできなかったのは、議員として力不足であったと痛感しています。反省しなければと思っています。今後は、事前に防ぐことができるような議会の働きをしていきたいと考えています。
10	中須町の西ノ町では、150世帯のうちの半数以上が被害を被った。(旭公民館)	ポンプ設備の整備とか、排水ポンプ車の導入、可搬のポンプの設置等の検討を始めています。
11	御調川などの河川改修や周辺の対策はどうなるのか。 (クルトピア明郷)	御調川と大塔川のうち3カ所の土砂撤去。砂防ダムのうち5カ所の土砂撤去を行う予定です。
12	県道府中上下線の通行止めにより、協和地区が孤立した。以前、坂根トンネルの計画もあったが、坂根峠を越えて県道木野山府中線を拡張を要望する。 (協和公民館)	迂回路の確保については、議会でも坂根トンネルの実現に向けて県に働きかけるよう要望しています。市からは、孤立状態を防ぐために迂回路の確保は必要だという回答を得ているので、何らかの対策がとられると考えています。
13	坂根トンネルの建設には県の計画に挙げる必要があるが、具体的にどのように取り組むのか。 (協和公民館)	平成8年に県に要望し調査する中でカドミウムの問題があったため計画はとまっています。計画自体はなくなったわけではなく、ハードルは高いが環境問題や財政上も考えながら県の計画に載せるため要望していくしかないと考えています。

14	後別当農道が通れなくなっており、対応されておらずずっと通行止めになっている。もっと早く対応してほしい。（クルトピア栗生）	市に要望をしているところであり、御迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。 （現在、査定が済んで国庫補助災害復旧工事の申請を行っている）
15	各地でがけ崩れ等で通行止めがあったが、上下町から出口町までの近道の銀山街道は、がけ崩れも少なく比較的安全なため、この道路を拡幅しては。（上下町民会館）	銀山街道については、道路の拡幅ではなくトンネルの再検討を要望していますが、早急な対応には至っていない状況です。
16	県道府中上下線の通行止めに関し、諸毛町経由の迂回路の情報が錯綜した。市の対応は、自己責任で通行してほしいといわれたが、無責任である。（クルトピア明郷）	諸毛町の県道については、通行止めや自己責任で通行といった情報が錯綜し御迷惑をおかけしました。早い段階で応急処置とガードマンの配置を行い対応されましたが、市は責任を持って安全に通行できるよう県にも働きかけるよう強く要望します。
17	北川鉄工所付近の県道の片側通行は、工夫をすれば通れるのではないか。 （クルトピア明郷）	安全・安心に通行できるように、もう少しお待ちください。
18	市の調査で床上浸水34件と分かっているにも関わらず、申請が4件。災害に対するインターネットでの情報、広報等はいないのか。 （旭公民館）	広報誌、回覧板で支援制度、災害見舞金、災害援護資金貸付、助成金、裏山崩壊地復旧支援事業、宅盤、法面の崩壊復旧支援事業、被災農業者向けの経営体制の支援事業、農地、農業施設災害復旧支援について、お知らせしています。
19	今回の災害における市の独自制度の概要を伺う。 （協和公民館）	国や県の補助を受けない場合の市独自の制度を設けたもので、農地・農業施設の場合の補助率は、事業費の4分の3、上限30万円です。裏山崩壊地は事業費の2分の1、上限50万円。宅盤・法面崩壊の場合は、事業費の2分の1、上限50万円となります。
20	市の独自制度は、申請に工事の見積書が必要になるが、見積業者がいらない。また、工事業者もいない。 （協和公民館）	市内には建設業者が23社しかない。建設業者や測量業者が足りていない現実があるので、市には期限も延長などの対策を要望している。
21	災害復旧に対する制度について、高齢者等申請が困難な状況の方などに配慮し、申請主義をやめ、市職員が回ってはどうか。（上下町民会館）	申請主義から市職員が回ることへの対応の変更については要望していきます。
22	制度を受けるためのにどのような手続きが必要か複雑である。 （上下町民会館）	国の補助事業で40万円以上工事の場合、これは、個人の農地であることから申請がなければ工事に着手できません。これ以外に、農地や農業用施設が被害を受けた場合に、府中市独自の補助制度を設けており、申請により75%補助、25%自己負担となっています。

23	通力（つぶるき）線の水路が私有地の土砂で埋まり、市へ相談した際、水路の土砂撤去には自己負担が発生すると言われた。市の負担で撤去できないか。（上下町民会館）	国の補助事業となる農業用施設災害復旧事業について自己負担は必要ないはず。市単独災害復旧事業での農業用水路の補修については、1割の自己負担が必要です。
24	ボムボムのサーキット場があるところの近くを工事しているが、子どもの遊び場になっている箇所に入れるように工事を早く済ませられないか。（クルトピア栗生）	要望として伝えます。
25	今回の災害額はどの程度と把握されているか。（市役所）	補正予算に計上した災害復旧に関する予算としては、8月臨時会で13億、9月議会では10億となっていますが、これはまだ確定ではなく、今後もまだ必要となると考えられます。
26	補正予算の25億は市の単独出費か、国から補助金として入ってくるのか。（市役所）	国から補助金として一部入ってきます。
27	砂川、ため池等に水位計、監視カメラ等の設備がなされていない。大水害になる前の警報を的確に出すということのためにも、予算措置をしっかりと要望してほしい。（旭公民館）	市へ要望していきます。
28	市道にかかった樹木の伐採を市に要望すると所有者に依頼すると言われるが、個人でできない場合もある。地域で伐採もしているが、今後、高齢化が進み、個人や地域で対応できない場合どうするのか。（協和公民館）	市は所有者がいる場合は伐採しません。所有者が伐採しない場合は、地域のボランティアに頼っています。しかし、道に倒れた樹木の撤去は市が行っています。山林の管理は全国的にも課題となっているので、災害予防も含めて市に要望していきます。
29	一般会計の補正により早急に対応する等、委員会の設置が無いことについて、議会の機動力がないのか。予算措置について、どのようになっているのか。（市役所）	議会として、今回は特別委員会の設置はしませんでした。全員協議会において、各議員から災害の状況、要望等について市民から伺っていたことを、このような提言にさせて頂いた。国からの予算措置、市独自の制度等、9月議会で補正予算措置があり、来年度にかけても災害復旧の予算措置があると思われます。激甚災害の指定があり、9割の国からの補助があるとのこと。国の制度については、11月9日が申請期限となっていますが、市の独自制度については、12月28日が申請期限（平成31年3月29日まで延長済み）となっています。今後、測量、設計等を実施し、入札し、3年間で復旧作業を行っていきます。ただ、大きな課題として、西日本全体の災害だったので、コンサルがいない、業者がいないということがあります。したがって、見積を出してくれる業者がいないという状況もある。設計のできる技術者の派遣を国へ依頼し、入札ができるような体制をとれるよう進めています。

30	明郷学園については、20年前も同様な災害があり、復旧は大変であった。何故、今回も同じことが繰り返されたのか。また、御調川と芦田川の河川の計画について、繰り返さないよう、議会として力を入れてほしい。（市役所）	20年前は原型復旧でした。その後改良計画、鉄橋の付け替え、川幅を倍ぐらいにするという計画ができていたが、昨年からやっと動き始めています。鉄橋については、詳細設計をいただいております、川幅の拡張については、用地買収の段階と県からの説明を受けたところでした。今後10年程度の期間で改良されるものと思われます。
31	被災による後片付け等の作業の最中に備後国府まつりが開催された。 中止や延期は検討されたか。（生涯学習センター）	備後国府まつりの実施について、中止や延期を求める地域の方の意見も把握しています。 主催の青年会議所や府中市と協議していく中で、「がんばろう府中」というスローガンを掲げ、皆様と一緒に元気を出して地域を盛り上げる必要があると判断したものです。
32	鳥獣対策の取り組み状況を伺う。（協和公民館）	農作物などを鳥獣に食べられる被害によって、農業をあきらめることにつながることを危惧しています。切実な問題として市には、予算の増額など駆除対策を求めています、なかなか進んでいないのが現実です。被害の実態を行政にしっかり届け、改善に向けた要望を行います。また、防御ネットの補助制度は、単独申請及び共同申請も可能であり、1申請一回限りから、1会計年度に1申請（次年度に再度申請も可能）も可能となったため活用してください。
33	災害復旧には多額の予算が必要と思うが、その分扇橋の工事の進捗が遅れるということはないか。（クルトピア栗生）	道路の予算が3億、橋台の予算が2億、都市計画道路用地買収等調査で9億ということで、あわせて14億、今年度中の県の予算が措置されていますが、この災害で若干着工が遅れていると聞いています。
34	道の駅ににぎわいが全然なく心配している。今後の展望は。（クルトピア栗生）	当初の目標人数20万人を大きく下回る決算になりそうで、市としても指定管理者に「道の駅の活性化に向けた運営を」と申し入れをされている。議会としても非常に懸念しており、建設委員会の中でも、どうすれば天満屋を含め中心部ににぎわいを取り戻すことができるかというのは、いろんな道の駅を見て回ったり、いろんな指定管理の方のお話を聞いたりしながら、起死回生の策を探っています。 レストランも、もっと皆さんが行きたくするようなレストランに変えていただくように議会からも申し入れをしていきます。 市民からの率直な御意見としてお伝えし、改善できるところをしっかりと改善していただきます。
35	伊藤元市長の時、大きな工事は市外の業者が取ってやっていた。多少高くても市内業者に発注し、議員の定数や報酬を減らすのではなく、地元にお金を落とすということを考えてほしい。（出口公民館）	現在は、市の業者に発注できるものは発注していると思います。 道の駅やポムポムなど、最近の工事は市内業者が行っています。
36	出口川のカドミウムの説明会に議員が誰も来ていなかった。もっと考えてもらわないと困る。（出口公民館）	一般質問の中でも、根本的に解決しないといつまでも流出するという指摘がありました。源泉を把握するのは難しいので対症的に覆う予算を立てて調査しています。

37	中山間地の農業には、面積要件に該当しないため県の助成制度が受けられない。農業で生活できるよう議会でも取り上げてほしい。 (クルトピア明郷)	農業政策には国・県の大きな枠の政策はあるが、活用できていません。農業の重要性は理解しているので、市で何ができるか検討していきます。
38	諸毛町にある埋立センターは、カラスが大量に住み着いている。覆土をするなどの管理がされていない。また草刈りも行われていない。現地を確認してほしい。 (クルトピア明郷)	現地を確認し、改善案を行政と検討します。
39	森林税の使い方はどうなっているのか。(協和公民館)	森林所有者の施業意思がある森林の整備や住宅などの民間建築物を対象とした県産材利用(平成28年度で廃止)、また、ボランティア活動支援などに活用しています。

(議会改革特別委員会所管)

No.	意見・質問	会場での回答(及び検討結果)
1	議員定数、報酬については、大胆な発想で改革を行い、議員自ら決定してほしい。 (上下町民会館)	平成32年3月には結論を出します。
2	報酬が少ないのではないかと。 (クルトピア明郷)	子育て世代で、副業がなく議員専業では、生活するには厳しいとは感じているが、月額報酬40万円でやっていくことを決意し議員になっています。また、政務活動費が月額1万円と低いと、報酬から政務活動費に充てている現状もあります。
3	議員は府中市全体の議員であることから、議員一人当たりの人口割、面積割は必要ないのではないかと。 (上下町民会館)	議員は府中市全体の議員であることを基本に活動しています。
4	議員定数は落とすべきでない。むしろ定数を増やし、報酬を下げるべきである。 (市役所)	貴重な意見として伺います。
5	議員のなり手不足を考える前に、議員のあり方を考えるのが先決である。 なり手不足は報酬が少ないからということで、待遇改善につながるような発言にもとれる。 (生涯学習センター)	議員のなり手不足については、市民の皆様の御意見を聞かせていただいて、市民の皆様が議員に対して何を求められているかを考え行動していきます。

6	議員のなり手不足の解消には、平素から関わりを持っていく、話し合いをもっていく。地域からちゃんと支援をしていくことが必要と考える。 (旭公民館)	貴重な御意見として伺います。
7	女性のなり手不足については、クォータ制（割当制）も含めて議論してほしい。 議論することで、市政への関心が高まる。 (生涯学習センター)	御意見を真摯に受け止めて、今後の議会改革に努めていきます。
8	女性議員の意見がこの時代を乗り切っていくために必要である。女性が多く集まるPTAなどの集会でもっとアピールが必要ではないか。 (協和公民館)	PTAからも要望などの機会はあるが、議員のなり手不足の議論には至っていません。そういう機会も捉えて訴えてまいります。
9	女性、若者の議員へのなり手不足については、情報発信不足ではないか。 議員定数を減らさず、議員としての活動をもっと充実し、その姿を情報発信してほしい。(上下町民会館)	府中市全体のことを考えながら、地域の小さな意見も吸い上げるよう一層の努力をしております。
10	本会議での議案審査はなくなったのか。 また、予算・決算審査に市長が出席していないのか。 (生涯学習センター)	議案については、常任委員会を設置し委員会で詳細に審議するようになっていきます。 予算・決算審議について、委員会へは市長は出席しますが、詳細に審議する分科会には市長は出席していません。
11	議事録については、6か月遅れでやっと掲載されている。市民にいち早く情報を提供してほしい。 (市役所)	議事録については、少しでも早く公開できるように検討しているところです。議会中継については、ケーブルテレビやYouTubeで動画配信をしています。
12	議会中継をネットで見ているが、市の当局者に対する議員の質問が手ぬるい。もっと情報を集めて突っ込んだ質問をしていただきたい。 (クルトピア栗生)	今後、質問の組み立ての仕方を考え、情報収集し、充実した質問ができるよう、研鑽してまいります。
13	自治基本条例を制定し、市民の声が市政に届きやすくしてほしい。 (上下町民会館)	検討し、対応してまいります。
14	今、市議会議員は地元の要望を市に持っていくことはなく、町内会長がするようになっていく。それならそんなに人数はいなくていいのではないか。 (出口公民館)	システムとしては、町のことは町のことで、町内会長が要望をするということになっていきます。 議員として町々を団体として取りまとめたり、町内会だけでは声が弱い場合には町内会長と連名で要望書を出したりもしています。 市議会議員の、市民の声を市に伝えるという役割は昔も今も変わっていません。

15	議員1人ひとりがマニフェストを作られる考えはないか。 (市役所)	御意見として伺います。
16	地元の要望を出すか、要望に対する回答がなく、あの要望はどうなったのかという思いが常にある。行政と地域の連携の役割を市議会議員に果たしてほしい。 (出口公民館)	地域の要望を市政に届けるのは市議会議員の大きな仕事と思っています。そういう姿勢で頑張ります。
17	何故、議員が自らの事を自分たちで決めるのか。一般市民の第三者に任せられないのか。月額40万円もらっている市民の労働者がどの程度いるか。一般市民に委ねてください。市民無視です。 (市役所)	貴重な意見として伺います。